



お申込み受付中

和泉市立総合医療センター 連携登録医制度 スタート！

この度、患者さんが地域で安心して継続した医療を受けられるよう、当院と連携・協力して安全で質の高い医療を提供される医療機関の先生方を「連携登録医」として登録する制度を導入致しました。

ご登録いただくと…

- 連携登録医証の交付
- 当院からの優先的な逆紹介
- 当院が開催する症例検討会、研修会、講演会等をご案内
- 広報誌等の定期発送
- ホームページやパンフレットへ「連携登録医」として掲載（※希望される場合）等

随時、和泉市内の内科・歯科機関の皆様より申込を受け付けております。既にお申込みいただいている皆様については、随時担当者よりご連絡差し上げます。

※和泉市外の内科・歯科機関の皆様のお申込みについては追ってご案内申し上げます。

	登録申請機関	
登録医制度の詳細や申込方法については、 地域連携センターまでお問い合わせ下さい。	和泉市内 内科	44
	和泉市内 歯科	40

※12/25時点

1月の休診・代診について

休診・代診については、ホームページ（休診案内）をご確認いただくか、地域連携センターまでお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。



和泉市立総合医療センター 地域連携センター

月～金曜日 9:00～19:00まで

土曜日 9:00～13:00まで
（但し祝日・年末年始の休日は除く）

TEL:0725-41-3150（直通）

FAX:0725-41-2513（直通）



地域連携センターだより

発行/和泉市立総合医療センター 地域連携センター（毎月1回発行）
電話/直通 0725-41-3150 代表 0725-41-1331
FAX/直通 0725-41-2513



謹賀新年



皆様には、幸多き新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年中は大変お世話になりまして、誠にありがとうございました。本年も病診連携・病病連携のみならず、患者さんが安心して在宅に戻れるよう、多職種の連携を密にし、質の高いサポートを行えるよう努めてまいります。皆さま方のご支援、ご協力の程よろしくお願い致します。

地域連携センター 退院支援担当メンバー

病院の理念



- 1、患者さんの視点に立った安心・安全な医療の実践に努めます。
- 2、患者さんに最適な医療を提供できるように努めます。
- 3、新しいことにもチャレンジし、医療の質の向上に努めます。
- 4、思いやりのある医療人の育成に努めます。

新年のご挨拶

謹んで新春のお慶びを申し上げます。昨年は世界中が新型コロナウイルス感染症に翻弄された1年でしたが、残念ながら収束の目途はまだなく試練の日々が続きそうです。新しいmRNAワクチンにぜひとも期待したいところです。

昨年来、多くの病院や介護施設で新型コロナウイルス感染症の集団感染が発生しています。十分な対策を取っていても忍び寄ってくるウイルスには頭を悩ませます。当院では病院長をリーダーとした感染対策チームが綿密に感染対策を策定し、クラスターに備えてクラスター対策班を立ち上げ、万一の場合にも影響を最小限に封じ込める対策を立てています。

新型コロナウイルス感染症対策はとても重要ですが、コロナ以外の様々な疾患の診療も等しく重要で、厳重な感染対策を行いながら並行して行わなければなりません。そのような中で、当院では昨年、最新の低侵襲手術支援ロボットダヴィンチ(da Vinci) Xiを導入し、ロボット手術を開始しました。1～2cmの小さな創より内視鏡カメラとロボットアームを挿入し、高度な内視鏡手術を可能にします。現在は泌尿器系疾患に限られていますが、今後、呼吸器、消化器や婦人

科の疾患の手術にも範囲を広げていくことを目指しています。

昨年度は初期研修医の応募者数が20人を越えました。今春から初期研修医枠が少し増え、大学や連携病院とのたすき掛け初期研修医を併せて7～8人前後の研修医が研修を行います。医師、看護師、メディカルスタッフなどの若い職員に魅力を感じてもらえるマグネットホスピタルをめざして参ります。

当院の連携登録医に対して約80名の医科・歯科の先生方にご登録いただき、誠にありがとうございました。先生方のご協力で紹介・逆紹介率が上昇、がん手術件数も増加して、地域医療支援病院の承認や国指定の地域がん診療連携拠点病院の指定もあと一步のところまで来ています。

病院は地域の先生方との強い連携のもとに、この地域の住民の皆さまの健康をお守りするというミッションを達成すべく、誠心誠意努力をして参ります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

総長 村上 城子

新年のご挨拶

令和3年の新年にあたりご挨拶申し上げます。昨年は、新型コロナウイルス感染症の対応に追われた1年でした。当センターもコロナ感染症に全力で取り組み、公的医療機関としての役割は果たしてきたと思っています。一日も早い収束を願うばかりです。

さて、和泉市立総合医療センターも新しく発足して3回目の新年を迎えました。現在では、外来患者数は1日平均980名(平日)、病床利用率が91～93%の状態で推移しています。これも地域の医療機関の皆様のご支援のお陰と深く感謝申し上げます。当センターは、地域の中核病院として質の高い医療を提供すること、市民の皆さんが安心して生活できるよう救急医療の充実に努めることをミッションとしています。昨年は、質の高い医療として、呼吸器センターとがんセンターを設置しました(HPを参照ください)。呼吸器センターでは、呼吸器内科、呼吸器外科、腫瘍内科が協働して呼吸器疾患全般を取り扱い、泉州地区における拠点病院の役割を果たしていく所存です。がんセンターは、がん患者を診療するすべての診療科、看護部、薬剤部、放射線、病理などが一体となって機能するシステムを構

築し、がんの診断、治療から緩和ケアまで切れ目のなく医療を提供する体制をとっています。さらに、がんゲノム医療にも取り組み、有効な治療への道を開くことに努力しています。新しい医療機器としては、内視鏡下手術支援ロボット・ダヴィンチとデジタル病理を導入しました。手術支援ロボットは、患者さんに優しい、安全で精度の高い手術が可能となります。デジタル病理は、遠隔展開による迅速かつ正確な診断に加えて、地域医療機関との連携にも繋がると期待しています。救急医療については、年間の搬送件数が3,500件を超えるようになりましたが、さらなる強化に向けて努力しているところであります。和泉市立総合医療センターの発展には、地域医療機関との連携が極めて重要であります。引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

名誉総長 福岡 正博



和泉市立総合医療センター 総長
小児科 村上 城子(むらかみ せいこ)

〈資格〉
日本小児科学会専門医 PALSプロバイダー
同指導責任医 日本小児科学会代議員
子どもの心の相談医 大阪小児科学会運営委員
日本感染症学会ICD認定医 大阪小児科医会副会長
大阪市立大学医学部臨床教授 和泉市医師会理事



和泉市立総合医療センター 名誉総長
腫瘍内科 福岡 正博(ふくおか まさひろ)

〈資格〉
医学博士、近畿大学名誉教授
日本内科学会認定内科医
日本臨床腫瘍学会暫定指導医
日本呼吸器学会指導医・専門医
日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医・指導医